

## ハイライト

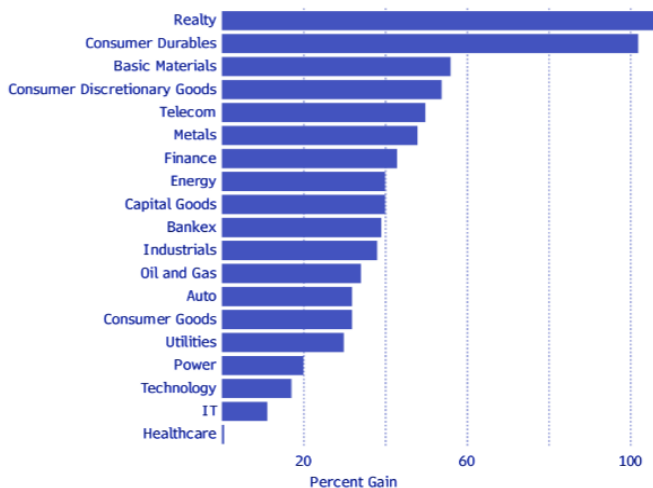
ロンドンの経済・ビジネス研究センターはインドが2018年に英国やフランスを飛び越えてドルで5番目の経済大国となります。

この報告書によると、2032年までに中国、インド、日本が3大世界経済となる。CEBRの報告書によると、インドは20世紀後半にトップに進出すると予測している。

(出典：CEBR、Bloomberg)

### 2017年の最高と最低

インドの資産、消費者の耐久性が2倍以上に向上



出典：Data compiled by Bloomberg

Bloomberg

合計119億5000万ドルは発行総額は304億5000万ドルに達した。この新しい発行は、国内外の投資家から250億ドルの資金を調達して、資産バブルのリスクを軽減するのに役立っている。インドの最大企業である住宅開発金融公社・HDFC銀行株式会社およびタタスチール株式会社は、2018年に64億5,200万米ドルを調達する計画を発表した。インドの最大企業である住宅開発金融公社・HDFC銀行株式会社およびタタスチール株式会社は、2018年に64億5,200万米ドルを調達する計画を発表した。GSTの展開と消費量削減の影響につれてインドの経済成長が加速するため、企業投資の回復を示している。

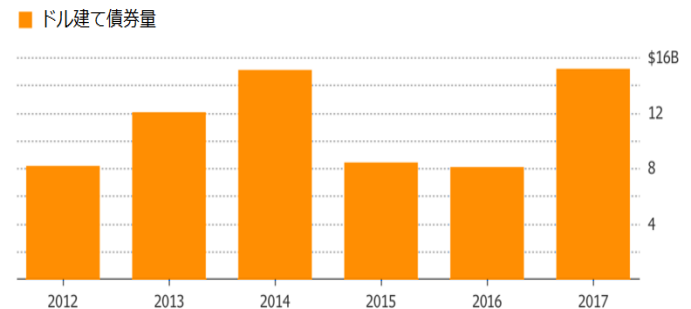
(出典：Bloomberg、Kotak Mahindra Bank)

11月に商工省によると、インドの輸出は、前年比30.6%増の262億ドルとなった。11月の輸出高は、非石油輸出の出荷台数が前年比27.4%増加したことによるものである。インドの輸出の最大シェアを占めているエンジニアリング製品は、世界的な鉄鋼需要の増加により43.8%増加した。

(出典：Ministry of Commerce and Industry, Bloomberg)

### 発行フレンジー

インドの米ドル建て債券販売は2017年に過去最高を記録



出典：Data compiled by Bloomberg

Bloomberg

インドからのドル建て債券の売上高は2017年までに約90%増加し、過去最高で152億ドルとなり；歴史的に低金利と信用スプレッドが、投資が拾い上げられたときに国内最高格付けの企業が市場にアクセスできるようになったためである。報告書は、2018年にインドから発行されたUSDの新規債券が、新しい格付けのパイプラインとして好調を維持し、市場ニュースは国際投資家からの強い需要、特に5年間のテナントを引き続き満たしていることを示している。

(出典：Jay Capital, Bloomberg)

ベンチマークとしてS&Pボンベイ・センス・インデックスが3年ぶりに最高の年間利益を上げ、27.91%となったとして、地元のファンドと外国人投資家は2017年度に250億ドル分の株式を購入した。中規模企業のゲージは48%上昇し、小型キャップ指数は60%増加した。(出典：Sensex、Bloomberg)

会議の議事録は、今後のいくつかの会合で中央銀行が保留になることを示唆していることでインド準備銀行(Reserve Bank of India)は、6分間に買い戻し率を6%に保った。金融政策委員会の委員は、食糧と原油価格の上昇、成長の回復が鈍化していること、そして幅広い産出ギャップに懸念を表明した。しかし、産出ギャップが広がり、野菜の価格が下落する見通しがあるため、RBIは成長率を引き上げるために引き下げを余儀なくされる可能性がある。RBIは、指導のために着信データを探している。

(出典：RBI, Bloomberg)

## 重要な情報

この報告書は、株式単元のオファーを構成するものではなく、勧告または意見書または広告でもありません。これは何らかの証券の利率や価格の起こり得る将来の動きに関する何らかの予測や表示の性質を持つものではありません。上記の報告書の内容は、特定の目的、経済状態、そしてこの報告書を受け取る特定の人の特定のニーズを顧みず、情報提供のみを目的としています。何らかの証券や有価証券への投資と本文書に言及されている投資戦略の妥当性に関しては、助言を求めるべきであります。

当社がお客様の投資問題を解決するうえでお役に立てる方法について詳しくお知りになりたい場合には UTI 投資担当者にお問い合わせ頂くか、[www.utifunds.com](http://www.utifunds.com) をご覧ください。